

学校における食育の手引



平成 2 9 年 3 月

秋田市教育委員会

はじめに

食は生きる上での基本であって、成長期にある児童生徒に望ましい食習慣を身に付けさせることは生涯にわたって健康な心身を保持する上で極めて重要です。食環境が多様化し、情報が氾濫する現代においては、食育の重要性が一層増しております。

我が国では、「食育基本法」（平成17年）が成立し、同法に基づいて「食育基本計画」（平成18年）が決定され、「学習指導要領」（平成20年改訂）に「食育の推進」が盛り込まれるとともに、「学校給食法」（平成21年施行）により、給食の目的に「食育の推進」が位置付けられました。さらに、平成28年度からは第3期「食育基本計画」が実施され、本市においても新たに「秋田市食育推進計画」を策定し、「食を通じて健康な体と心をはぐくもう」の基本理念のもと、食育に取り組んでいるところです。

こうした中、上新城小学校および飯島南小学校においては、平成27年度文部科学省委託スーパー食育スクール、平成28年度秋田市課題研究推進校として、各教科等における学習や、学校給食の活用による栄養教諭を中核とした食育に取り組んでまいりました。

このたび、各校における食育を一層推進するため、両校の研究実践に基づき、「学校における食育推進の手引」を作成しました。各校におかれましては、本手引を活用し、家庭や地域との連携を図りながら、自校の実情に応じた食育を推進くださるようお願いいたします。

平成29年3月

秋田市教育委員会

I 食育を推進するにあたって

食育の推進を国民運動として推進するため、平成17年に「食育基本法」が施行され、同法に基づき「食育推進基本計画」が決定されました。ほぼ同時に、食に関する指導を本務とする栄養教諭の配置が開始されるとともに平成20年に学習指導要領が改訂され、総則に「学校における食育の推進」が盛り込まれたほか、関連する教科等での食育に関する記述の充実が図られました。こうした動きに加え、平成21年には、「学校給食法」が改正され、学校給食を活用した食に関する指導を充実させることについて明記されました。

■食育基本法（平成17年7月施行）

子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも「食」が重要である。・・・食育を、生きる基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付ける・・・子どもたちに対する食育は、心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるものである。（一部抜粋）

※食育の理念や食育が生涯にわたって行うべき取組であること、教育関係者を含めた関係者の役割などについて規定しています。

■学習指導要領（平成20年告示）

学校における体育・健康に関する指導は、児童の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。特に、学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、体育科の時間はもとより、家庭科、特別活動などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めることとする。（第1章 総則（小学校）第1の3 一部抜粋）

※食育は教科等ではないことから、関連が深い教科等である生活科、体育科、保健体育科、家庭科、技術・家庭科、特別活動、総合的な学習の時間の学習指導要領に食育の推進について記述されています。

■学校給食法（平成21年4月施行）

この法律は、学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ、児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであることにかんがみ、学校給食及び学校給食を活用した食に関する指導の実施に関し必要な事項を定め、もって学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図ることを目的とする。（一部抜粋）

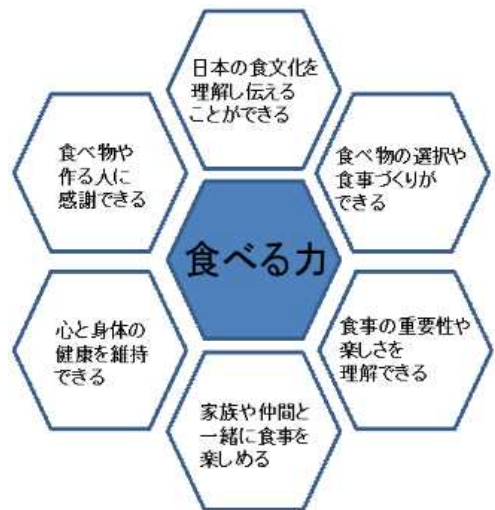
※学校教育における食育の一層の充実を図る観点から大幅な改正が行われ、法律の目的に「学校における食育の推進」が追加されるとともに、栄養教諭が「学校給食を活用した食に関する実践的な指導を行うものとする」と規定されました。

■国「第3次食育基本計画」（平成28年度～平成32年度）

食育をとおして「食べる力」の育成を目指しています。「食べる力」とは食事によって心と体の健康を維持するだけでなく、食事の重要性や楽しさを理解するなど、生きるための基本になる力のことを指します。「食べる力」は、家庭や学校、地域等における食育の取組によって子どもの頃から育てられ、大人になってからも学んだことを実践したり、次世代に伝えたりすることではぐくみ続けられるとされています。

【重点課題】

- ①若い世代を中心とした食育の推進
- ②多様な暮らしに対応した食育の推進
- ③健康寿命の延伸につながる食育の推進
- ④食の循環や環境を意識した食育の推進
- ⑤食文化の継承に向けた食育の推進



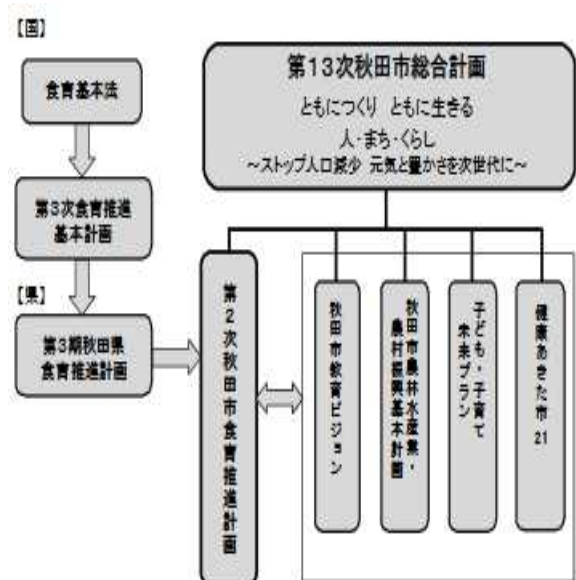
上図：「食べる力」のイメージ図
(秋田市食育基本計画から)



左図：ライフステージのイメージ図
(内閣府HPから)

■本市「第2次秋田市食育推進計画」

本市では、「元気なあきたは食事から～食を通じて健康な体と心をはぐくもう～」の基本理念のもと、乳幼児期から高齢期までのライフステージの特徴とつながりを意識した食育推進計画を策定しました。小学生は基本的な生活習慣を身に付け、様々な学習や体験をとおして食に関する知識やマナーを学び、食の大切さを実感する重要な時期、中学生は部活動や受験勉強で生活が不規則になりがちであるとともに食事の時間や内容を選択する機会が増える食の自立に向けた基盤となる時期ととらえ、次のような目標となるメッセージを作成しました。



上図：「第2次秋田市食育推進計画」の位置付け

□ライフステージに応じたメッセージ（小・中学生向け）

学童期（6～12歳）	思春期（13～18歳）
<p>○朝ごはんを毎日食べて、1日を元気に過ごしましょう。</p> <p>○栄養のバランスを考えて、好き嫌いしないで食べましょう。</p> <p>○おやつは質・量・時間を考えてとりましょう。</p> <p>○よく噛んで食べる習慣を身に付けましょう。</p> <p>○食事作りに参加しましょう。</p> <p>○農業体験などをおして、食べ物の成り立ちを学び、食べ物や生産者に感謝して、食事をいただきます。</p>	<p>○生活のリズムを整え、朝食をきちんと食べましょう。</p> <p>○栄養のバランスや成長に必要な食事を理解し、自分で選択できる力を身に付けましょう。</p> <p>○夜食のとり方に注意しましょう。</p> <p>○よく噛んで、毎食後、歯をみがく習慣を続けましょう。</p> <p>○自分で調理する力を身に付けましょう。</p>

（秋田市食育基本計画から）

■食に関する指導の目標

文部科学省では、中央教育審議会答申（平成20年1月）を踏まえ、次のような食に関する指導の目標を設定しました。

【食に関する指導の目標】

- 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。（食事の重要性）
- 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。（心身の健康）
- 正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。（食品を選択する能力）
- 食物を大事にし、食物の精算等にかかわる人々へ感謝する心をもつ。（感謝の心）
- 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。（社会性）
- 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。（食文化）

＜食に関する指導の手引－第一次改訂版（平成22年3月文部科学省）から＞

各地域や学校の状況等に応じて、上記以外についても食に関する指導の目標として掲げ、各教科等において積極的に指導を行っていくことが期待されています。

また、学校における食育については次の点に配慮して進めることとしています。

【学校における食育を推進すること（食に関する指導）】

- ・家庭や地域との連携を図る。
- ・継続性に配慮し、関連教科等における食に関する指導を体系づけ、学校教育活動全体を通じて総合的に推進する。
- ・意図的に学校給食を教材として活用する。

＜食に関する指導の手引－第一次改訂版（平成22年3月文部科学省）から＞

II 小・中学校における食育（食に関する指導）の考え方

学校における食育を進めるためには、食に関する指導の基本的な考え方、指導方針等を明確にし、教職員の共通理解を図り、学校給食を生きた教材として活用しつつ、給食の時間はもとより、各教科や道徳、総合的な学習の時間、特別活動といった学校の教育活動全体をとおして行われることが必要です。

＜食に関する指導の手引－第一次改訂版（平成22年3月文部科学省）から＞

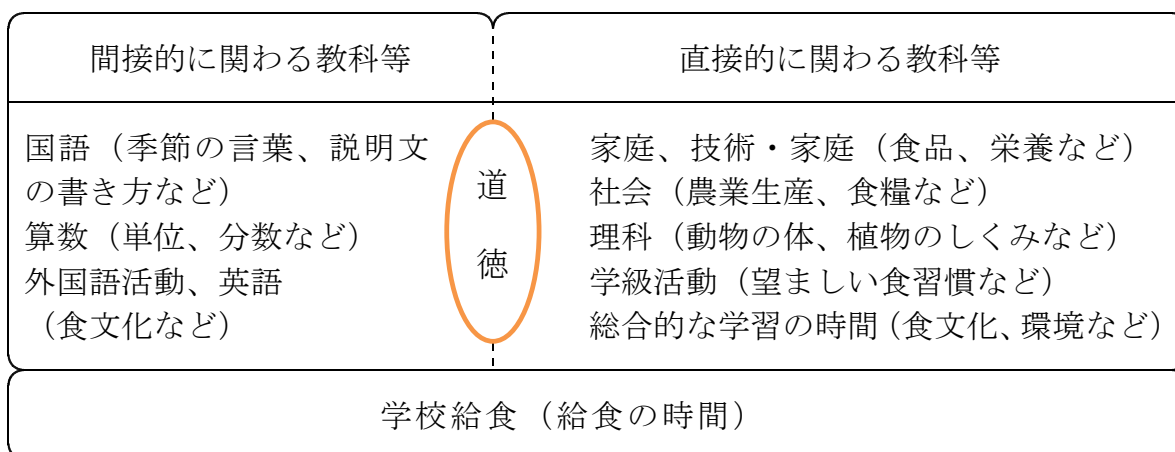
○食育とは「いつでも、どこでも、みんなで 取り組む課題」

いつでも→小学1年生から中学3年生まで、系統的に、継続的に取り組む

どこでも→全教育活動をとおして取り組む

みんなで→学校だけでなく、家庭、地域、社会全体で取り組む

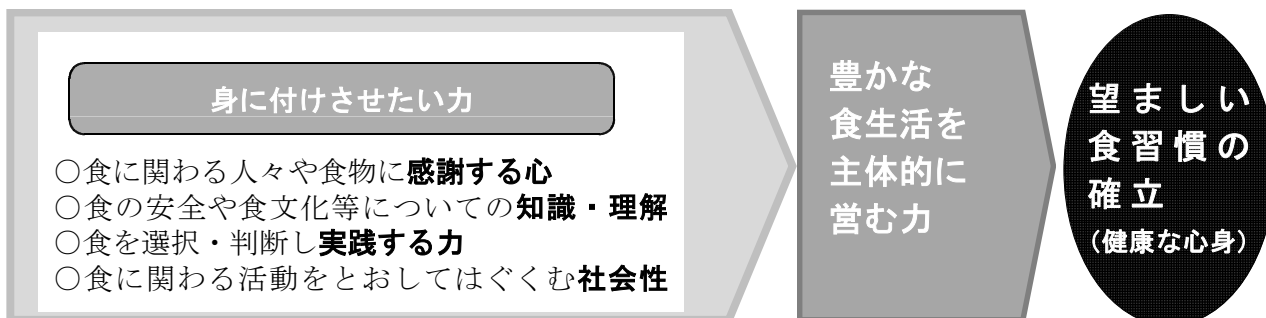
○食育と各教科等との関連（イメージ図）



＜平成28年度栄養教諭・学校栄養職員研修会 国士舘大学 北俊夫教授の講話から＞

III 身に付けさせたい力

本市では、食育をとおして児童生徒に次の4つの力を身に付けさせ、豊かな食生活を主体的に営むことのできる児童生徒の育成を目指します。



■身に付けさせたい力と指導内容の例示

4つの力のそれぞれの視点から指導の内容について例示します。

○食に関わる人々や食物に感謝する心

- ・食という行為は、動植物の命を受け継ぐことであること
- ・食生活は、生産者をはじめ多くの人々の苦労や努力に支えられていること
- ・食料の生産は、すべての自然の恩恵の上に成り立っていること
- ・食事のあいさつは、食に関しての感謝の気持ちの表現であること
- ・感謝の気持ちの表れとして、残さず食べたり無駄なく調理したりすること

○食の安全や食文化についての知識・理解

- ・食事は規則正しくとることが大切であり、特に朝食をとることは、心と体を活動できる状態にし、もてる力を十分に発揮できるようになること
- ・健康の保持増進には、栄養バランスのとれた食事とともに適切な運動、休養および睡眠が重要であること
- ・自分の食生活を見つめ直し、よりよい食習慣を形成しようと努力すること
- ・手洗いやよくかむこと、よい姿勢や和やかな雰囲気作りは、食事の基本であること
- ・規則正しい1日3食の栄養バランスのよい食事は、心身の成長の基本であること
- ・様々な食品にはそれぞれ栄養的な特徴があること
- ・日常食べている食品や料理の名前や形を知ること
- ・食品表示など食品の品質や安全性等の情報について関心をもつこと
- ・自分たちの住む地域には、昔から伝わる料理や季節、行事にちなんだ料理があること
- ・地域の伝統や気候風土と深く結び付き、先人によって培われてきた多様な食文化があること
- ・諸外国の食事の様子を知るとは、国際理解につながる事
- ・食品の衛生に気を付けて、簡単な日常食の調理ができること

○食を選択・判断し、実践する力

- ・ 外食や中食、自動販売機やコンビニエンスストア等の食環境と自分のかかわりを理解した上で、適切に利用すること
- ・ 栄養のバランスを考えて、好き嫌い無く食べること
- ・ 安全性、栄養の特徴、環境などに配慮した食品の選択ができること
- ・ 1日3食、栄養のバランスを考えて食事ができること

○食に関わる活動をとおしてはぐくむ社会性

- ・ はしの使い方、食器の並べ方、話題の選び方などの食事のマナーを身に付けること
- ・ 協力して食事の準備や後片付けをすること
- ・ マナーを考え、会話を楽しみながら気持ちよく会食すること
- ・ 協力したり、マナーを考えたりすることは、相手を思いやることであり、楽しい食事につながる



■身に付けさせたい力と評価の視点一覧

学年	感謝する心	知識・理解	実践する力	社会性	
小学校	1年	◇食事を作ってくれた人に感謝する。 ◇いただきますとごちそうさまの意味がわかり、あいさつができる。	◇食べ物に興味・関心をもつ。 ◇朝食の大切さがわかる。 ◇食べ物の名前がわかる。 ◇自分の住んでいる身近な土地でとれた食べ物を知る。	◇楽しく食事をすることができる。 ◇嫌いな食べ物でも親しみをもつことができる。 ◇正しい手洗いができる。	◇友だちと仲良く食べる。 ◇正しいはしの使い方がわかる。 ◇正しい食器の並べ方がわかる。 ◇給食の準備や後片付けができる。
	2年	◇食事を作ってくれる人の努力を知る。 ◇心を込めて、いただきますとごちそうさまのあいさつができる。 ◇食べ物には命があることがわかる。 ◇季節や行事にちなんだ料理があることを知る。	◇食べ物に興味・関心をもつ。 ◇よく噛んで食べることの大切さがわかる。 ◇いろいろな食べ物の名前がわかる。	◇好き嫌いせずに食べようとする。 ◇よい姿勢で、落ち着いて食べることができる。	◇みんなと協力して給食の準備や後片付けができる。 ◇正しいはしを使うことができる。 ◇食器を正しく並べられ、正しく持って食べることができる。
	3年	◇食事は多くの人々の努力があって作られることを知り、感謝の気持ちをもって食べることができる。	◇3食規則正しく食事をとり、生活リズムを整えることの大切さがわかる。 ◇健康に過ごすためには、食事が大切なことがわかる。 ◇いろいろな料理の名前がわかる。 ◇食品を安全で衛生的に扱うことの大切さを理解している。 ◇季節や行事にちなんだ料理があることがわかる。	◇好き嫌いせずに残さず食べようとする。 ◇よく噛んで食べることができる。	◇食事のマナーを考えて楽しく食事ができる。 ◇楽しく給食を食べるために、みんなと協力できる。
	4年	◇自然の恵みに感謝して食べることができる。	◇楽しく食事をすることが心身の健康に大切なことがわかる。 ◇地域の産物に興味をもち、日常の関連付けて考えることができる。	◇衛生的に給食の準備や食事、後片付けができる。 ◇健康に過ごすことを意識して、いろいろな食べ物を好き嫌いせずに食べることができる。	◇会話を工夫しながら、楽しく食事ができる。 ◇協力して準備をしたり、分別してごみを片付けたりできる。
	5年	◇生産者や自然の恵みに感謝し、残さず食べることができる。	◇朝食をとることの大切さを理解している。 ◇栄養のバランスのとれた食事の大切さがわかる。 ◇五大栄養素と食品の三つの働きがわかる。 ◇食品を選ぶ時に安全・衛生が大切であることがわかる。 ◇地域の特産物を理解し、日常の食事と関連付けて考えることができる。	◇朝食をとることを習慣化している。 ◇栄養を考え、好き嫌いで食べることができる。 ◇日常の食事に興味・関心をもつ。	◇食事の準備や後片付けを進んで実践する。
	6年	◇食にかかわる多くの人々や自然の恵みに感謝し、残さず食べることができる。 ◇楽しく食事をすることが、人と人とのつながりを深め、豊かな食生活につながることをわかる。	◇食事が体に及ぼす影響や食品をバランスよく組み合わせる大切さを理解し、一食分の献立を考え、調理することができる。 ◇食文化や食品の生産・流通・消費について理解を深める。 ◇外国の食文化をとおして、外国とのつながりを考えることができる。	◇食品の衛生に気を付けて、簡単な調理をすることができる。 ◇衛生的に食事の準備や後片付けをすることができる。	◇楽しい食事を通じて、相手を思いやる気持ちをもつことができる。 ◇食事の準備や後片付けをよりよく実践できる。
中学校	◇生産者や自然の恵みに感謝し、食品を無駄なく使って調理をすることができる。	◇食環境と自分の食生活のかかわりを理解する。 ◇生活の中で食事が果たす役割や自ら調理できることの重要性、健康と食事とのかかわりについて理解している。 ◇食文化や歴史と自分の食生活との関連を考慮することができる。 ◇食品の生産、流通、消費について正しく理解している。 ◇食品の安全・衛生について理解している。 ◇中学生の時期に必要な栄養について理解している。	◇毎日規則正しく食事をすることができる。 ◇食品の安全・衛生について判断し、適切な取扱いができる。 ◇食品に含まれている栄養素や働きがわかり、品質の良否を見分け、適切な選択ができる。 ◇自分の生活や将来の課題を見つけ、望ましい食事の仕方や生活習慣を理解し、自らの健康を保持増進することができる。 ◇一日分の献立を踏まえ、簡単な日常食の調理をすることができる。	◇会食について関心をもち、楽しい食事をとおして望ましい人間関係をよりよく構築しようとする意欲をもつことができる。 ◇環境や資源に配慮した食生活を送ることができる。	
学年	感謝する心	知識・理解	実践する力	社会性	

IV 推進のポイント

各校で食育を推進するにあたっては、次の5点に留意します。

- 1 全体計画の作成
- 2 各教科等のつながりを意識した指導
- 3 学校給食の活用
- 4 専門的な知識を有する教職員との連携
- 5 家庭・地域との連携

1 全体計画の作成

■全体計画が必要な理由

- ・学校教育活動全体の中で体系的な食に関する指導を計画的、組織的に実施することができる。
- ・教職員全体で共通理解を図ることができる。
- ・保護者や地域の方々に学校の取組等を説明し、理解と協力を得るための基本的な資料となる。

■全体計画に掲げることが望まれる内容と作成の手順

児童生徒の実態を踏まえた課題を明確にした上で、各学年における年間の食に関する指導と各教科等における指導内容とを系統的・体系的に整理し、各教職員の役割と相互の連携・協力のあり方を明確にしておくことが重要です。



自校の全体計画をチェックしてみましょう

- 学校教育目標の具現化に資する食に関する指導の目標となっていますか
- 近隣の幼稚園・保育所、学区内の小・中学校との連携の方針が示されていますか
- 学年ごとの食に関する指導の目標が明確ですか
- 給食の時間における食に関する指導の目標の内容等を年間をとおした一覧表に整理していますか
- 学年ごとに関連する各教科等における食に関する指導の内容を抽出し、年間をとおした一覧表に整理していますか
- 個別的な相談指導の取組の内容が示されていますか
- 保護者や地域との連携の取組が示されていますか

■全体計画作成する際の留意点

次のような点に留意して、全体計画を作成します。

●食に関する指導の全体計画（小学校）例

児童の生活・健康の向上等を記述する。		学校教育目標																																																																																																						
●食に関する指導の目標		<ul style="list-style-type: none"> ①食の重要性、食の喜び、食の楽しみを認識し、自ら管理していく能力を身に付ける。 ②心身の発達に適切な食生活の重要性を認識し、自ら管理していく能力を身に付ける。 ③食生活の改善、食生活の向上に努める。 ④食生活の改善、食生活の向上に努める。 ⑤食生活の改善、食生活の向上に努める。 																																																																																																						
●各学年の食に関する指導の目標		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1学年</th> <th>2学年</th> <th>3学年</th> <th>4学年</th> <th>5学年</th> <th>6学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食に関する指導</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>食生活の改善</td> <td>食生活の改善に努める。</td> <td>食生活の改善に努める。</td> <td>食生活の改善に努める。</td> <td>食生活の改善に努める。</td> <td>食生活の改善に努める。</td> <td>食生活の改善に努める。</td> </tr> </tbody> </table>												学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	食に関する指導	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食生活の改善	食生活の改善に努める。	食生活の改善に努める。	食生活の改善に努める。	食生活の改善に努める。	食生活の改善に努める。	食生活の改善に努める。																																																																						
学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年																																																																																																		
食に関する指導	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																		
食生活の改善	食生活の改善に努める。	食生活の改善に努める。	食生活の改善に努める。	食生活の改善に努める。	食生活の改善に努める。	食生活の改善に努める。																																																																																																		
●学年の目標および評価の観点を設定します。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1学年</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>2学年</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>3学年</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>4学年</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>5学年</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>6学年</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> </tbody> </table>												学年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1学年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	2学年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	3学年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	4学年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	5学年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	6学年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。
学年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月																																																																																												
1学年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																												
2学年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																												
3学年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																												
4学年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																												
5学年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																												
6学年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																												
●「給食の時間」の年間指導計画を一覧で示します。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> </tbody> </table>												学年	1年	2年	3年	4年	1年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	2年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	3年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	4年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																		
学年	1年	2年	3年	4年																																																																																																				
1年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																				
2年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																				
3年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																				
4年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																				
●各教科等における食に関する指導内容について、題材名などを整理します。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>算数</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>道徳</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>体育</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>音楽</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>美術</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> </tbody> </table>												教科	1年	2年	3年	4年	国語	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	算数	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	理科	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	社会	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	総合	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	道徳	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	体育	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	音楽	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	美術	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	外国語	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																				
教科	1年	2年	3年	4年																																																																																																				
国語	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																				
算数	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																				
理科	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																				
社会	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																				
総合	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																				
道徳	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																				
体育	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																				
音楽	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																				
美術	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																				
外国語	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																				
●保護者や地域との連携した取組を具体的に示します。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> <td>食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。</td> </tr> </tbody> </table>												学年	1年	2年	3年	4年	1年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	2年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	3年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	4年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																		
学年	1年	2年	3年	4年																																																																																																				
1年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																				
2年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																				
3年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																				
4年	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。	食の大切さを理解し、食生活の改善に努める。																																																																																																				

□学校教育目標を踏まえた食に関する指導の目標とします。

- ・目標の設定にあたっては、児童生徒の健康状態や食生活の課題、保護者の要望などを把握しておきます。

□隣接する学校（園・所）との連携について示します。

- ・円滑な接続のために、食に関わる情報の交換を行うことが重要です。

□学年の目標および評価の観点を設定します。

- ・発達の段階を考慮し、その学年で育てたい児童生徒の姿を具体的に示すようにします。

□「給食の時間」の年間指導計画を一覧で示します。

- ・給食の時間の指導内容を教科等での指導と結びつけ、指導が学校全体として継続的かつ体系的に実施できるようになります。

□各教科等における食に関する指導内容について、題材名などを整理します。

- ・各教科等における指導内容を抽出し、つながりが明らかになるようにします。
- ・食に関する指導の全体像と指導場面を把握することができるようになります。

□個別的な相談指導の取組を示します。

- ・学級担任や栄養教諭（学校栄養職員）、養護教諭がチームとなって対応すること、家庭との連携についても記載します。

□保護者や地域との連携した取組を具体的に示します。

- ・保護者や地域の方々に年間のスケジュールを示すことで、学校の取組に理解や協力を得られやすくなります。
- ・地場産物について、教科等で取り上げるなど、活用の仕方についてもふれます。

2 各教科等のつながりを意識した指導

食に関する指導は学校教育活動全体をとおして実施することが重要です。次のようなことに留意の上、各教科等のつながりを意識した指導とします。

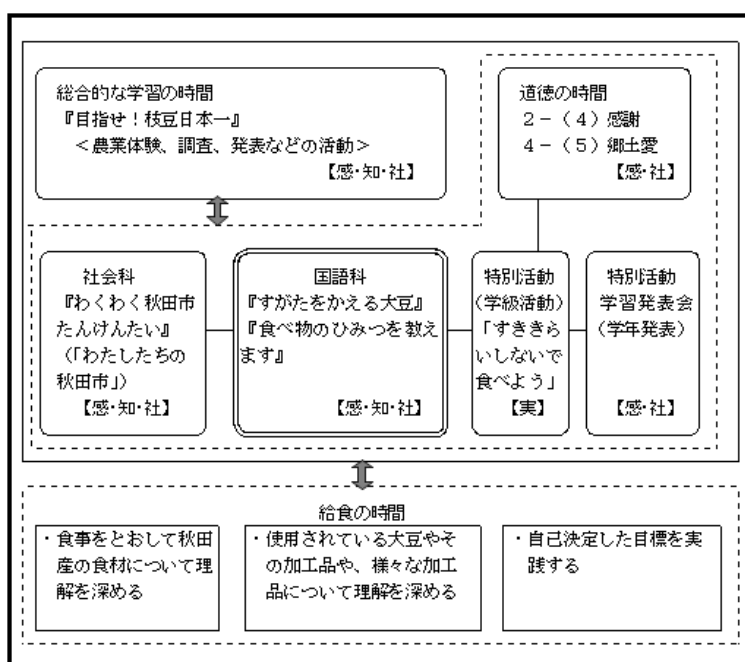
■指導を進める際の留意点

- (1) 校内の推進体制を整備すること
- (2) 全教職員が食に関する指導について理解すること
- (3) 各教科等相互の関連を明らかにした指導とすること
- (4) 各教科等の特質や目標を踏まえ、食育をとおして身に付けさせたい力との関連を明らかにした指導とすること
- (5) 栄養教諭等の専門性を生かした指導を行うこと
- (6) 児童生徒の食生活の状況や実態について適切に把握すること
- (7) 家庭・地域との連携を図ること

※学校における食育（食に関する指導）は、各教科等の多様な場面において行われることから、校内体制を整備し、計画的かつ継続的な指導を行うことが重要です。校内組織の中に新たに「食育指導部」などを創設するほかに、既存の組織を活用することも可能です。例えば「給食指導部」を「食育・給食指導部」とすることで、主任を中心に各教科等と学校給食の「つながり」を意識した指導を行うことができます。

■食育モデルプランの活用

- ・各校における食育を一層推進するために、食育の視点から各学年の教育活動全体の「つながり」をまとめたものが「食育モデルプラン」です。



- ・「食育モデルプラン」は、本手引のV (P 19～) に示しています。
- ・各校の実情に応じて活用するとともに、創意工夫し、より効果的な指導の時間となるように配慮します。

左図：小学3年生の例(P 22)

3 学校給食の活用

■学校給食の目標

学校給食法（平成21年4月施行）では、次のような目標が掲げられています。

【学校給食の目標】

- ①適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること
- ②日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと
- ③学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと
- ④食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- ⑤食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと
- ⑥我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること
- ⑦食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと

給食の時間における指導は、学習指導要領において特別活動の「学級活動」に位置付けられています。学習指導要領の総則の解説には、「食に関する指導に当たっては、栄養教諭等の専門性を生かすなど教師間の連携に努めるとともに、地域の産物を学校給食に使用するなどの創意工夫を行いつつ、学校給食の教育的効果を引き出すよう取り組むことが重要である。」と示されています。また、給食の時間における指導は、標準時数には含まれないものの、教育課程上の学級活動として指導計画に基づいて行われる極めて重要な学校教育活動です。

■給食の時間における食に関する指導

給食の時間における食に関する指導は、下記のとおり大きく2つに分けることができます。「給食指導」は、食事をするために必要な基本的なマナーなどについて指導することを指し、給食の時間における指導は、給食指導のほかに各教科等で学習した内容と関連付けた実践の場として活用することで、学習効果を高めることができます。

給食の時間における食に関する指導

- 教科等で取り上げられた食品や学習したことを学校給食をとおして確認させる。
- 献立をとおして、食品の産地や栄養的な特徴を学習させる。

給食指導

- 給食の準備から片付けまでの一連の指導の中で、正しい手洗い、配膳方法、食器の並べ方、はしの使い方、食事のマナーなどを習得させる。

■給食の時間における指導の特質

- ①給食の準備、会食、後片付けなどの一連の指導を、実際の活動をとおして、繰り返し行うことができる。
- ②「食事」という体験をとおして、各教科等で得た知識を、具体的に確認したり深めたりすることができ、学習効果を高めることができる。

○「食事をする」活動をとおして

- ・正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身に付けさせることができる。
- ・共同作業をとおして、責任感や連帯感を養うことができる。
- ・会食などをとおして、学校給食に携わる人たちへの感謝の気持ちなど豊かな心をはぐくみ、好ましい人間関係を育てることができる。

○繰り返し指導を行うことで

- ・学級担任と児童生徒が年間およそ190回、共に食事をする中で、繰り返し指導を行うことにより、望ましい食習慣を少しずつ身に付けさせることができる。

○「食事」という体験をとおして

- ・給食の食材に総合的な学習の時間などに栽培した野菜を使用したり、社会科の時間に学習する地域の産物を使用した献立を取り上げたりすることで、学習内容を身近に感じさせることができる。

■教材としての活用

学校給食は、全ての児童生徒が「共に食べる」という共通性や実践性などの特長をもっています。学習活動の導入、展開、終末など活用する場面を工夫することによって、「学習意欲を高める」、「学習の内容を広げる」、「より深く学ぶ」ことができます。

○学習意欲を高める

<小学校例 生活科【内容(2)】、理科 第3学年【内容B(1)】>

<中学校例 理科【内容 第2分野(1)】>

- ・児童生徒が栽培、収穫した野菜を給食の食材とし、味わうことで、食物に対する興味・関心を高めます。
- ・授業当日の給食の野菜を取り上げ、植物のどの部分を食べているのかを確認し、興味・関心を高めます。

○学習の内容を広げる

<小学校例 社会科 第5学年【内容(2)】>

- ・給食の献立に使われている食材の産地を調べることで、農業の背景や流通、地元の産業や知る学習に発展させることができます。

<小学校例 家庭科【内容B】>

- ・栄養のバランスのとれた食事として例示したり、使用食材を3つの主はたらきに分ける活動をしたりすることで、多数の食品を食べていることを実感させ、食品の栄養的な特徴を具体的に理解させることができます。

<中学校例 技術・家庭科【内容B】>

- ・給食に取り入れられている郷土料理や地域の産物を調べたり、実際に触れることをとおして地域や季節の食材のよさについて理解させることができます。

○より深く学ぶ

<事例 中学3年生 保健体育科「食生活と健康」>

- ・成長や健康の保持増進させるために重要な栄養のバランスのとれた食事やカルシウム摂取の重要性などについて学習した後、健康に配慮した給食を食べる体験をとおして、学習内容を再確認し、家庭生活に生かすことができるようにする。

■給食の時間を活用した指導の例

○献立一口メモを活用した指導

- ・当日の献立の料理や食材を取り上げている献立一口メモを活用し、給食委員会による昼の放送や、学級において、給食当番や日直などが読み上げるなどにより、食への興味・関心を高めることができます。

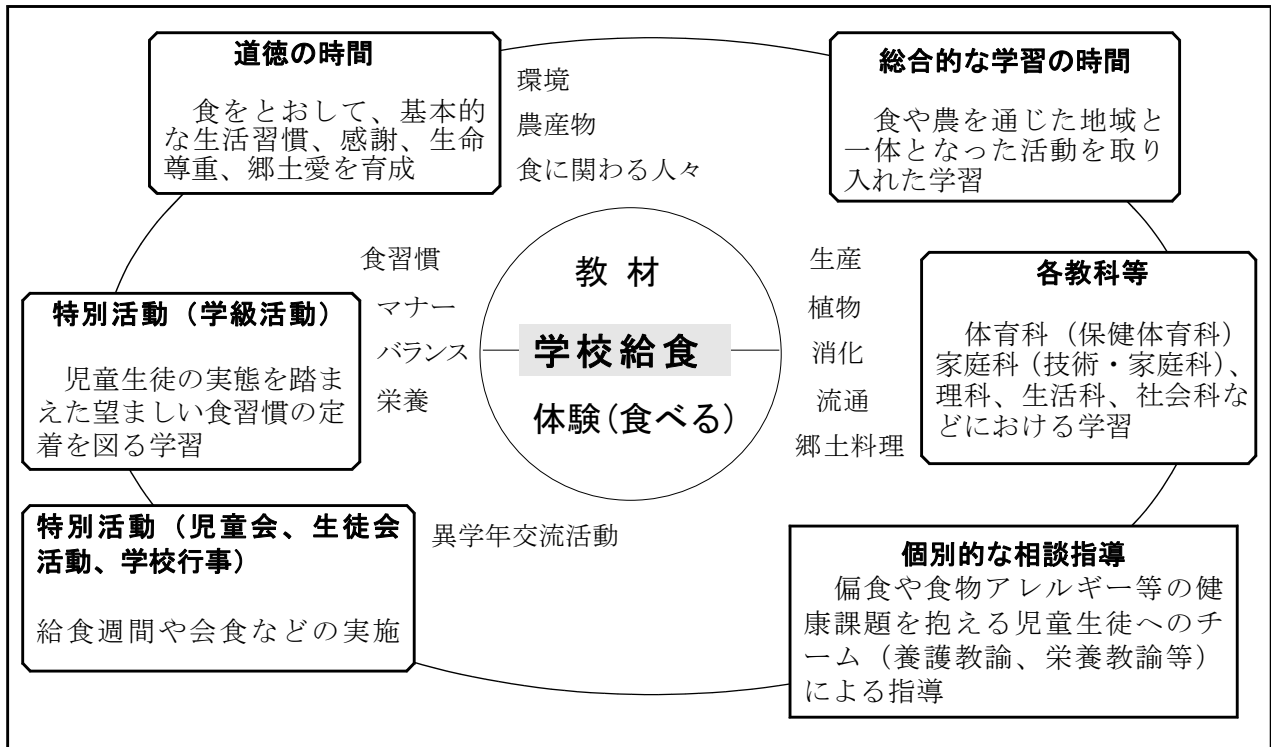
※献立一口メモは、秋田市学校給食献立作成委員会が作成している資料の中で、当日の料理の由来や食材の栄養や産地について紹介しています。

○栄養教諭等による訪問指導

- ・栄養教諭等が給食の時間に学級を訪問し、当日の料理や使用食材を紹介したり、偏食の子どもに声かけをしたりすることで、食への興味・関心を高め、実践に結びつく指導を行うことができます。

※訪問指導にあたっては、各教科等とのつながりを意識した計画的、継続的な指導となるよう年間指導計画などを作成し、指導にあたります。

※食物アレルギーのある児童生徒の喫食状況などについて把握する機会となるよう配慮します。



上図：学校給食と各教科等と関連のイメージ図

4 専門的な知識を有する教職員との連携

栄養や食品など食に関する専門的な知識・能力をもつ栄養教諭（学校栄養職員）や心身の健康に関する知識・能力をもつ養護教諭などと連携することにより、子ども一人一人に応じたきめ細やかな指導や、より効果的な指導を行うことができます。

○チームティーチング等による指導

- ・栄養教諭等が学校給食を教材としたり、工夫した教材を提示したりすることで題材への興味・関心を高め、豊かな学習環境を構築することができます。
- ・グループやペアなど多様な形態が可能になり、学習活動を充実させることができます。
- ・複数の目で個々の子どもを多面的に捉え、個に応じた指導とすることができます。
- ・栄養教諭等の未配置校においては、食育ネットワークを活用し栄養教諭等招へいし、家庭科や技術・家庭科の時間に学校給食の献立作成について説明を受けるなどの連携を行うことで学習課題への興味・関心を高め、効果的な指導とすることができます。

※授業のねらいを達成するためには、事前打合せを十分に行うことが大切です。

○個別的な相談指導

【想定される課題】

- ①肥満傾向のある児童生徒への食事や運動などの指導
- ②食物アレルギーのある児童生徒への食事などの指導
- ③偏食傾向のある児童生徒への食生活指導
- ④運動部活動などでスポーツをする児童生徒への指導
- ⑤痩身願望のある児童生徒への指導

- ・栄養教諭等が栄養指導、養護教諭が運動、休養について指導するなどチームで指導することで、より効果的な指導を行うことができます。
- ・個に応じた指導計画を作成し、変容を記録するとともに定期的に評価を行いながら指導することで、対象児童生徒にとって適正な改善に導くことができます。

※保護者の願いや児童生徒の抱えている課題を正しく把握した上で、適切に指導・助言します。その際、プライバシーには十分配慮します。

○食育ネットワークの活用

- ・未配置校においても、栄養教諭等による計画的、継続的な指導を行うことができるよう、食育ネットワークを活用します。

※食育ネットワークの活用にあたっては、年度当初に栄養教諭等の所属校と連絡を取り合い、計画的な指導を実施することができるよう配慮します。

-
- ・「食育ネットワーク」：全小・中学校において、栄養教諭等による食育や学校給食の運営等に関する助言が受けられるよう、栄養教諭等が所属している学校を中心に近隣校同士を結んだ連絡体制

5 家庭・地域との連携

児童生徒が食に関する理解を深め、日常生活で実践する力を身に付けさせるためには、学校と家庭が連絡を密にし、学校で学んだことを家庭の食事で実践したり、家庭での実践を教科等で取り上げたりするなど、双方向での取組の充実を図ることが重要です。

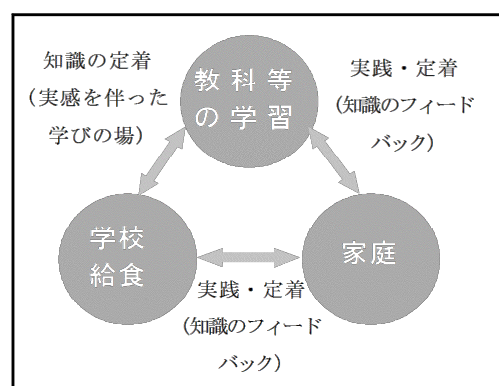
また、生産や流通にかかわる方々や食育ボランティアの方々など、地域の教育力を活用することにより、地域との連携を深めるとともに、地域の人々の食に関する関心を高め、ひいては家庭の食生活の向上を期待することができます。

■家庭との連携の進め方

【連携のポイント】

学校と家庭が双方向となる活動の工夫

- ①家庭への働きかけ
- ②PTA活動での食育の取組の促進



○学校と家庭が双方向となる活動の工夫

①学校と家庭が双方向となる活動の工夫

- ・「給食だより」や「保健だより」に望ましい食習慣や栄養のバランスのとれた食事、おすすめメニュー紹介などを掲載します。
- ・児童生徒が食に関する学習の課題を家庭で調べたり、学校で学習したことを家庭で振り返り実践したりすることができるような具体的な手立てを工夫します。
- ・学習ノートや学級便り等の返信欄を活用し、活動内容を家庭に伝えます。

(上図：家庭と教科等の学習、学校給食の関連イメージ図)

②PTA活動での食育の取組の促進

- ・PTA広報誌を活用し、児童生徒の食生活の状況や課題、学校の食育の基本方針などを周知します。
- ・食に関する講習会や親子料理教室などを学校と保護者が共催することで、望ましい食習慣や食文化についての理解が深まり、親子のコミュニケーションが深まるようにします。

※講習会等を開催するに当たっては、1年限りの取組ではなく、できるだけ多くの保護者や児童生徒が参加できるよう計画的な実施に配慮することが大切です。

■地域との連携の進め方

【連携のポイント】

地域の教育力の活用

- ①保・幼・小・中の連携
- ②医療関係者との連携
- ③生産者や食に関わる関係機関との連携

○地域の教育力の活用

①保・幼・小・中の連携

- ・地域の子どもたちの食に係る共通の課題を明らかにするとともに、地域の食環境や解決すべき課題への共通理解を図ります。
- ・課題解決のために、指導内容を関連付けながら、発達の段階に応じた系統立てた指導となるようにします。

②医療関係者との連携

- ・医療関係者や学校医、地域保健機関等の専門家と連携・協力することで、児童生徒一人一人が食生活の課題を改善したり、克服したりできるよう、また、保護者が抱えている不安を解消できるよう支援します。
- ※関係者とのネットワークを構築することが大切です。

③生産者や食に関わる関係機関との連携

- ・本市には、食に関係する仕事に携わっている方々や農場など生産の場所が、身近に存在しています。農業関係者やJ A、大学の方々の協力を得たり、生産等の場を活用することで、ダイナミックな活動とすることができます。
 - ・地域センターなどで放課後や土・日曜日、長期休業中に開催される各種教室や体験活動への参加は、児童生徒の食への興味・関心を高めます。
- ※地域人材などの活用にあたっては、過去に協力いただいた方々をデータベース化するなどして、継続して協力が得られるように配慮します。

6 食育の評価

■評価の基本的な考え方

学校における食育は、学校教育活動全体をとおして総合的に推進することで成果が期待できるものであり、食育の推進体制がどうであったか、目指す子どもの姿に近づいているかといった視点で評価することが重要です。

【目標と指標の考え方】

- 食育の目標 食育で目指す児童生徒像
- 到達目標 評価の対象となる目標（～増やす、～減らす）
- 評価指標 到達目標を評価する（測る）ための内容や方法（アセスメント項目）
 - ・成果指標 目標の達成状況を把握するための指標
 - ・取組指標 目標達成に向けた取組の状況を把握するための指標

<目標等の設定の例>

- 食育の目標 —— 教育活動全体をとおした食に関する指導により、望ましい食生活を主体的に営む力を身に付けさせる（望ましい食習慣を主体的に営むことのできる子ども）
- 到達目標 —— 望ましい食習慣を実践している子どもを増やす
- 評価指標
 - （成果目標） —— 「食に関する調査」の平均点を高める
 - （取組目標） —— 学校給食チャレンジ週間を年間3回実施する
栄養教諭による訪問指導を各学級年間5回以上実施する
PTAとの共催事業を2つ以上実施する

※取組目標の評価にあたっては、学校評価の項目に加えるなどします。

※到達目標を測るための評価指標については、本市課題研究推進校で作成した様々な調査を活用することができます。

■食に関する指導を評価するための調査

本市では、各校の実情に応じて活用できる次のような調査の様式があります。

【活用できる調査】（参考資料参照）

①食事アンケート（秋田市教育委員会において毎年実施）（P 4 1）

朝食喫食の有無やその内容、食に関する意識を知ることができる。本市の結果との比較も可能である。

②食に関する調査①（H27～28年度秋田市課題研究推進校作成）（P 4 3）

感謝の心、郷土愛、社会参画意識、食習慣をそれぞれ50点満点として、合計200点の平均点などで定着度を測ることができる。目指す子どもの姿を教職員への調査から明らかにし、4観点ごとに尺度を作成した。

③食に関する調査②（H28年度秋田市課題研究推進校作成）（P 4 4）

学習意欲について40点満点で向上したか否かについて測ることができる。学習意欲の内的動機付けを測定するために、新しいことに自発的に取り組む内発的意欲と困難なことを最後までやりとげる達成意欲について尺度を作成した。

④SHOKUIKUアンケート（H27～28年度秋田市課題研究推進校作成）（P 4 5）

食品名やマナーなど食に関する知識について、25点満点（3・4年生）、35点満点（5・6年生）の定着度を測ることができる。

※児童・生徒用自己評価シート【自尊感情測定】（東京都教職員研修センター作成）

自己を子ども自身がどのように捉えているかを把握するための調査で、22の質問項目を88点満点で、3因子（自己評価・自己受容、関係の中での自己、自己主張・自己決定）をレーダーチャートにより個人および集団ごとに実態を把握することができる。

※様式や集計表などは別添のCDを参照のこと

■評価の実施

取組は、PDCAサイクルに基づき改善を加えながら進めることが重要です。

○P（Plan）	目標とともに目指すべき成果やそれに向けた取組に関する計画
○D（Do）	計画に基づいた実行即ち指導
○C（Check）	指導の効果等の評価
○A（Action）	評価の結果を踏まえ、修正すべき点を修正し、さらに次の指導へとつなげ、目標達成へと導く





評価の結果は、保護者や地域住民等に広く公開し、保護者や地域住民と意見交換を行うことを通じて相互理解を深め、学校、家庭、地域の連携体制を改善しつつ、食育を組織的・継続的に改善、推進していくことが重要です。

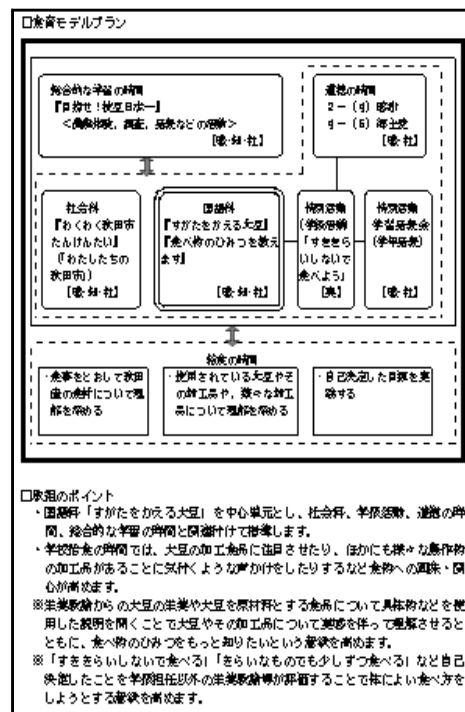
V 食育モデルプラン

■食育モデルプランとは

食育の視点から教育活動全体のつながりを明らかにすることで、各校における食育を一層推進しようとするものです。

■食育モデルプランの見方

- ①  は、関連する各教科等と単元名を表しています。
- ②  は、中心となる教科等を表しています。
- ③ **【**  **】** は、本市において食育をとおして身に付けさせたい四つの力との関連を示しています。
【感】：感謝する心、**【知】**：知識・理解、**【実】**：実践する力、**【社】**：社会性
- ④  は、生活科と総合的な学習の時間を除いた関連する教科等と学校給食のまとまりを表しています。



■取組のポイントについて

- ① 1 番目の「・」は、中心となる教科等と他の教科等との関連を表しています。
- ② 2 番目の「・」は、給食の時間における指導や学校給食の教科等における活用の仕方を表しています。
- ③ ※は、栄養教諭等食に関する専門的な知識を有する教職員との効果的な連携のあり方について例示しました。
- ④ ◎は、食育にあたって参考となる資料や教材を表しています。

■食育モデルプラン実施上の留意点

□栄養教諭等の未配置校の場合

- ・本市では栄養教諭等の未配置校においても、食に関する専門的な知識を有する栄養教諭等の指導や学校給食運営に関する助言を受けることができるよう「食育ネットワーク」を構築しています。このネットワークを生かし、担当の栄養教諭等を招へいするなどして、効果的な指導を行います。

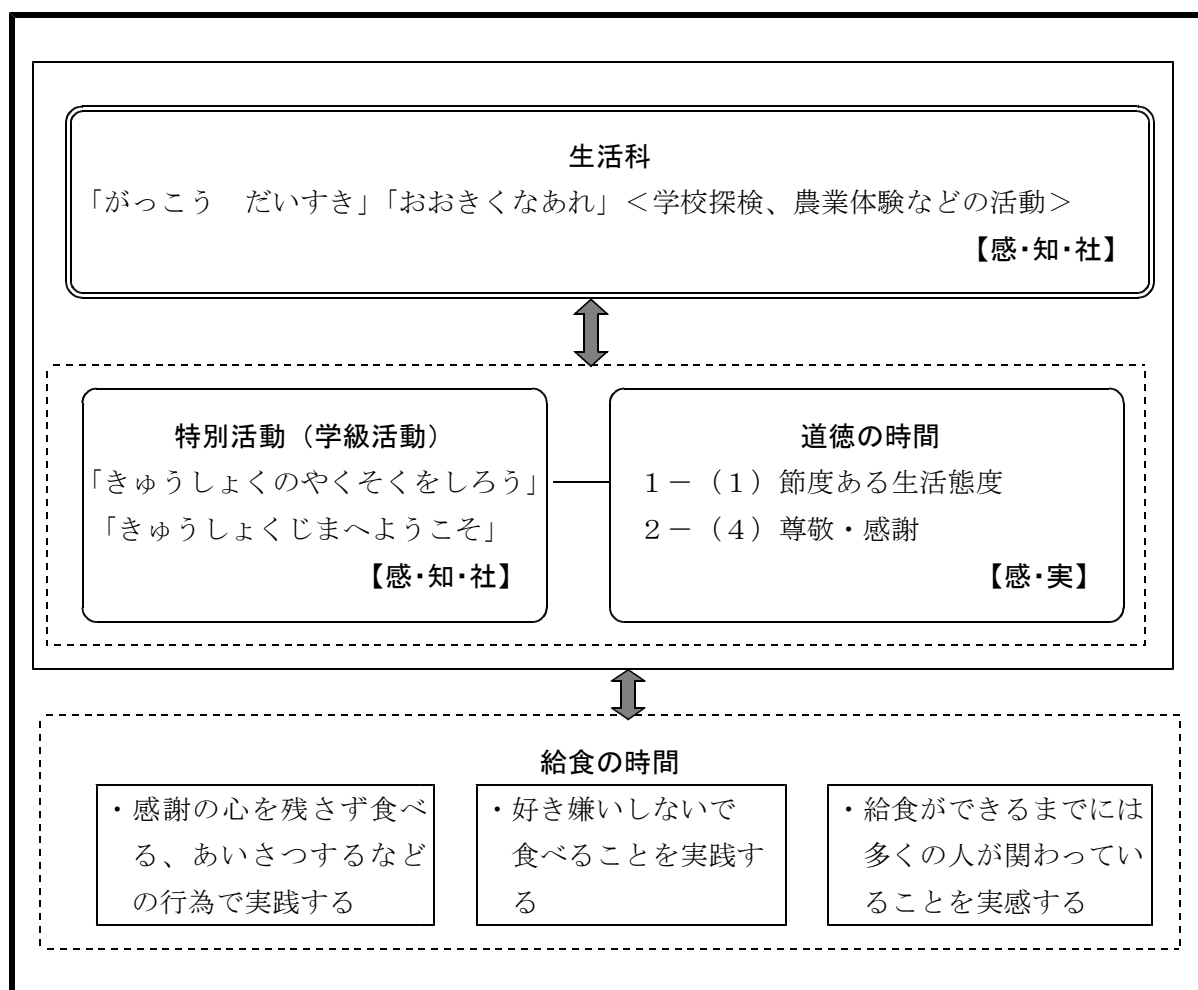
□食育関係資料の活用

各校には様々な資料が配布されています。それらを活用し、適切な指導に努めます。

- ① 本冊子「学校における食育推進の手引」(平成 29 年 3 月秋田市教育委員会)
- ② リーフレット「食育のすすめ」(平成 29 年 3 月秋田市教育委員会)
- ③ 冊子「平成 27 年度スーパー食育スクール事業実施報告書」
(平成 28 年 2 月上新城小学校ほか)
- ④ 副読本「わたしたちの健康(小学校低・中・高学年用)」(秋田市教育委員会)
- ⑤ 小学生用食育教材「たのしい食事 つながる食育」
- ⑥ 「食に関する指導の手引—第一次改訂版—」(平成 22 年 3 月文部科学省)
- ⑦ 『「食」で育てる秋田っ子』(平成 21 年 3 月秋田県教育委員会)
- ⑧ 食生活学習教材(中学生用)(平成 21 年文部科学省)

小学校第1学年

□食育モデルプラン



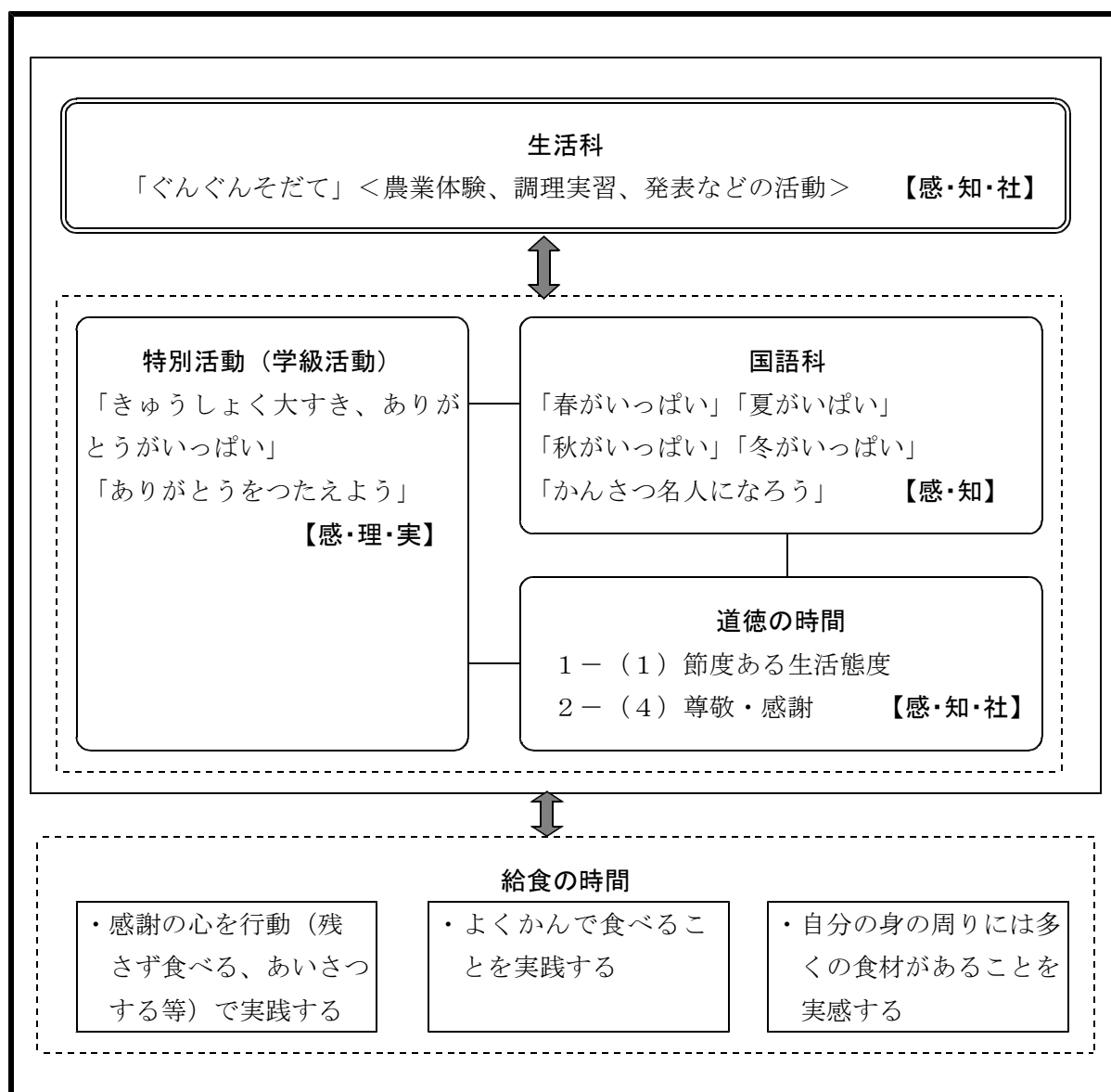
□取組のポイント

- ・生活科を中心に、学級活動や道徳の時間と関連付けながら、指導します。
- ・学校給食の開始にあたっては、食事のマナーやルールについてていねいに指導します。例えば、1日目は牛乳パックやごみ処理の仕方、2日目は食器の取り扱い方といったように、段階を踏んだ指導となるよう配慮します。

※栄養教諭等からマナーの意味や給食ができるまでの過程について説明を受けることで、学校給食にはたくさんの人々がかかわっていること、マナーの重要性について理解を深めます。

◎「スタートカリキュラム」（平成26年秋田市教育委員会）や「スタートカリキュラム・学校給食編」（平成29年2月秋田市教育委員会）「食生活教材」（文部科学省）を活用し、適切に指導します。

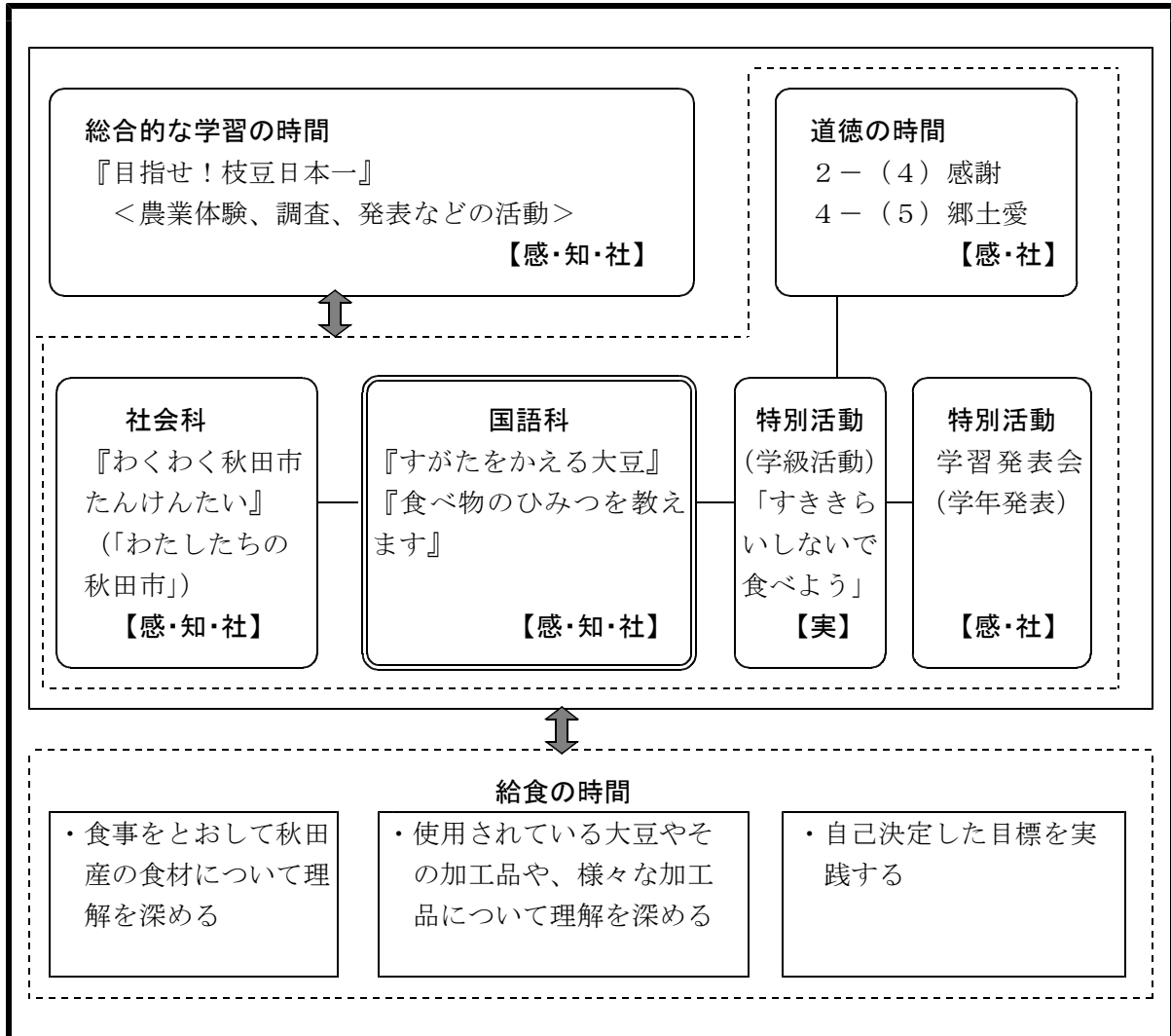
□食育モデルプラン



□取組のポイント

- ・生活科を中心に、学級活動や道徳の時間と関連付けながら、指導します。
 - ・自分の成長が実感できるよう、生活科の学校探検や給食の時間の当番活動における1年生との交流などを工夫します。
 - ・学校給食の時間では、食事のマナーやルールが定着するよう指導を行います。
- ※栄養教諭等が学校給食の献立に使用した地域の食品や農作物を実際に見せたり、調和のよい食事のとり方の具体的例を説明したりすることで、食事への関心を一層高めます。

□食育モデルプラン



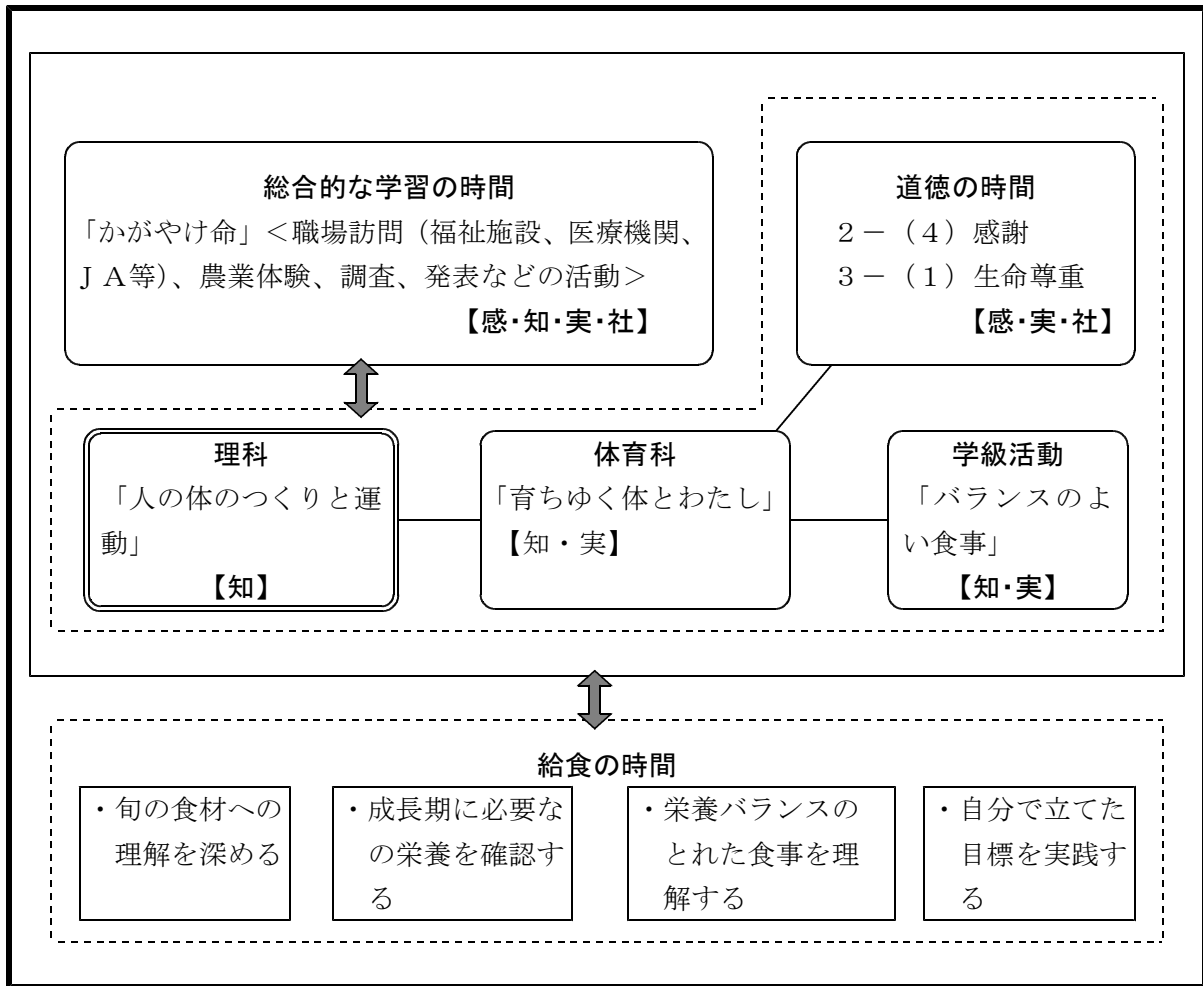
□取組のポイント

- ・国語科「すがたをかえる大豆」を中心単元とし、社会科、学級活動、道徳の時間、総合的な学習の時間と関連付けて指導します。
- ・学校給食の時間では、大豆の加工食品に注目させたり、ほかにも様々な農作物の加工品があることに気付くような声かけをしたりするなど食物への興味・関心を高めます。

※栄養教諭からの大豆の栄養や大豆を原材料とする食品について具体物などを使用した説明を聞くことで、大豆やその加工品について実感を伴って理解させるとともに、食べ物のひみつをもっと知りたいという意欲を高めます。

※「すききらいしないで食べる」「きれいなものでも少しずつ食べる」など自己決定したことを学級担任以外の栄養教諭等が評価することで体によい食べ方をしようとする意欲を高めます。

□食育モデルプラン



□取組のポイント

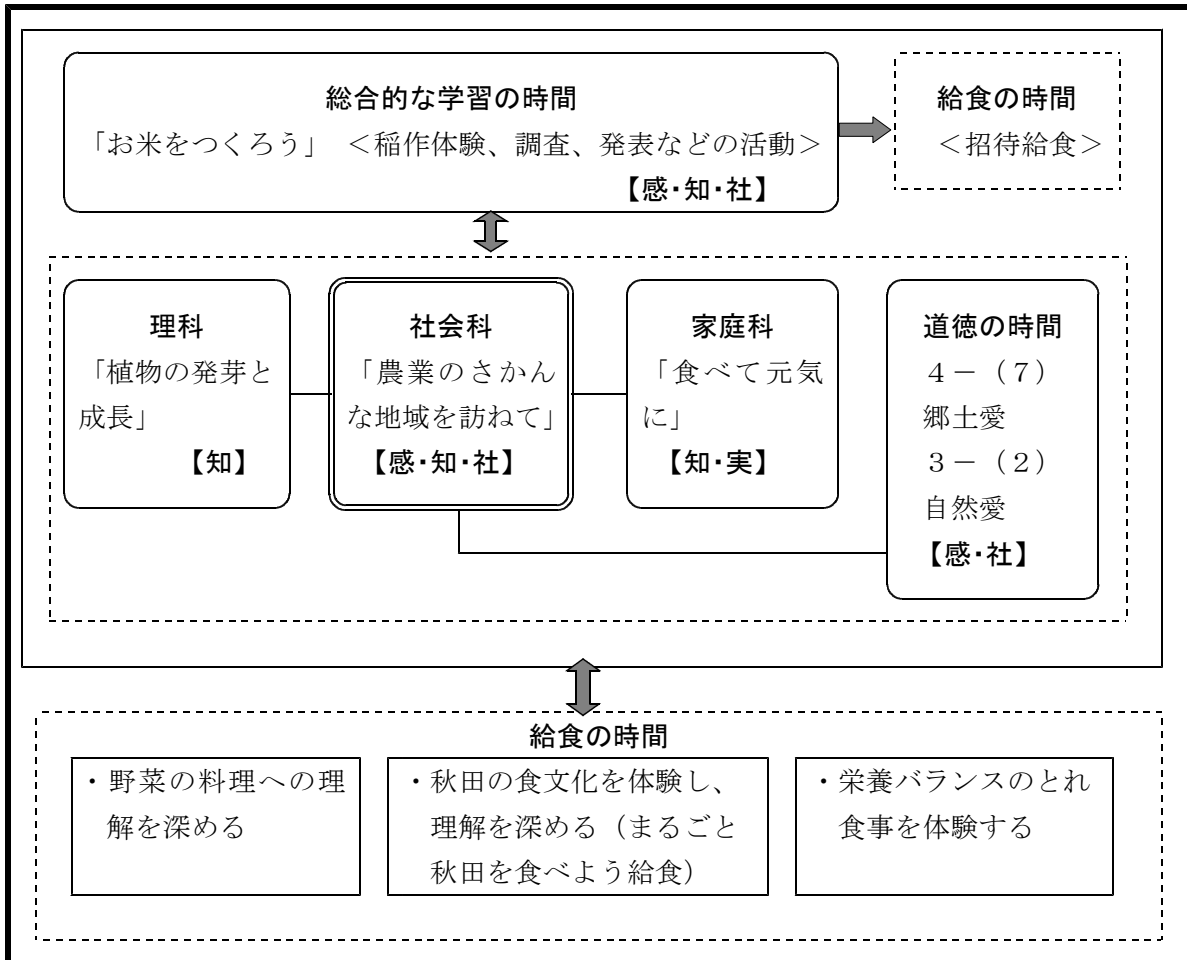
- ・理科「人の体のつくりと運動」を中心単元として、体育科、道徳の時間、学級活動、道徳の時間、総合的な学習の時間と関連付けながら指導します。
- ・「二分の一成人式」を実施する学校が多いことから、「命」と「食」を関連付けて指導することも考えられます。
- ・学校給食の時間では、季節の食材を確認したり、成長期に必要な栄養が含まれていることを確認し、自分の体のために残さず食べることを実践したりする場となるよう配慮します。

※栄養教諭等が理科で取り上げられ、給食に使用されている野菜について給食の時間などに栄養や調理の仕方について説明することで、旬の野菜（植物）や体によい食事の仕方について理解を深めます。

※栄養教諭が地域の食に関わる施設訪問の情報提供する役割を担うことも考えられます。

小学校第5学年

□食育モデルプラン



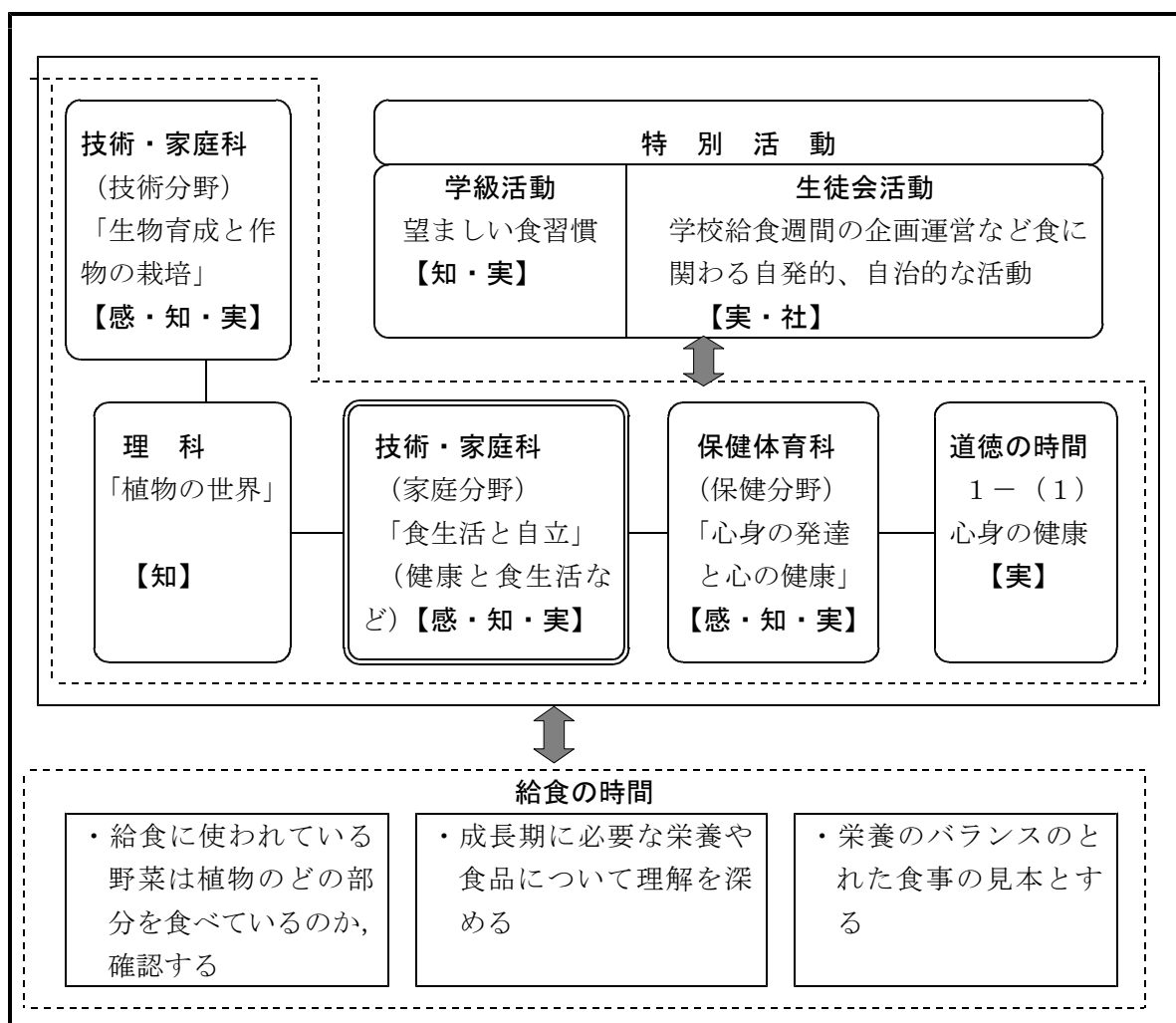
□取組のポイント

- ・社会科「農業のさかんな地域を訪ねて」を中心単元として、理科、家庭科、学級活動、道徳の時間、総合的な学習の時間と関連付けて指導します。
- ・学校給食では、収穫した農作物を献立に使用したり、「まるごと秋田を食べよう給食」を活用し秋田の特産品や郷土料理にふれたりすることで、食文化や農作物への理解を深める時間とします。

※栄養教諭等から学校給食の献立使用されている地場産農産物の具体物の提示されたり、3つの基礎食品群の栄養についての説明をうけたりすることで、食への知識・理解を深めることができます。また、家庭科等における調理実習の際に調理の仕方や包丁などの機器の取り扱いについて師範されることで調理技術の向上に結びつけることができます。

※栄養教諭が地域の食に関わる施設訪問の情報提供する役割を担うことも考えられます。

□食育モデルプラン

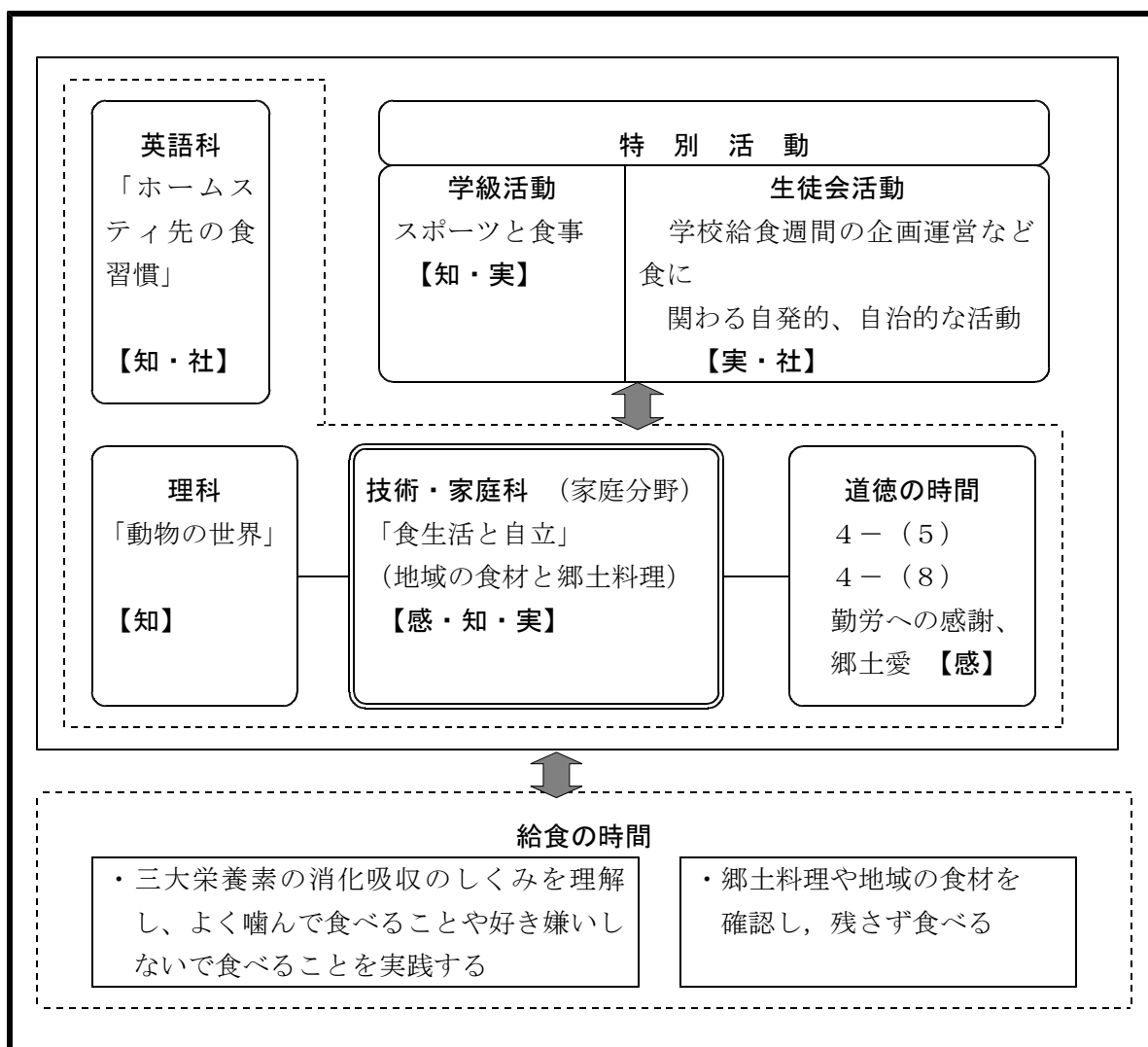


□取組のポイント

- ・技術・家庭科（家庭分野）「食生活の自立」を中心単元として、理科、保健体育科、道徳の時間、特別活動と関連付けて指導します。
- ・学校給食では、野菜が植物としてどの部分を食べているのか等のクイズを出題したり、栄養のバランスのとれた食事として例示したりするなど食物への興味・関心を高めるように指導します。
- ・特別活動において自己決定した目標を実践する場として給食の時間を活用することも考えられます。

※栄養教諭等から成長期に必要な栄養や学校給食の献立作成にあたって配慮していることなどについての説明をうけたりすることで、食への興味・関心を高めるとともに知識・理解を深めることができます。また、技術・家庭科等における調理実習の際に調理の仕方や包丁などの機器の取り扱いについて師範されることで調理技術の向上に結びつけることができます。

□食育モデルプラン

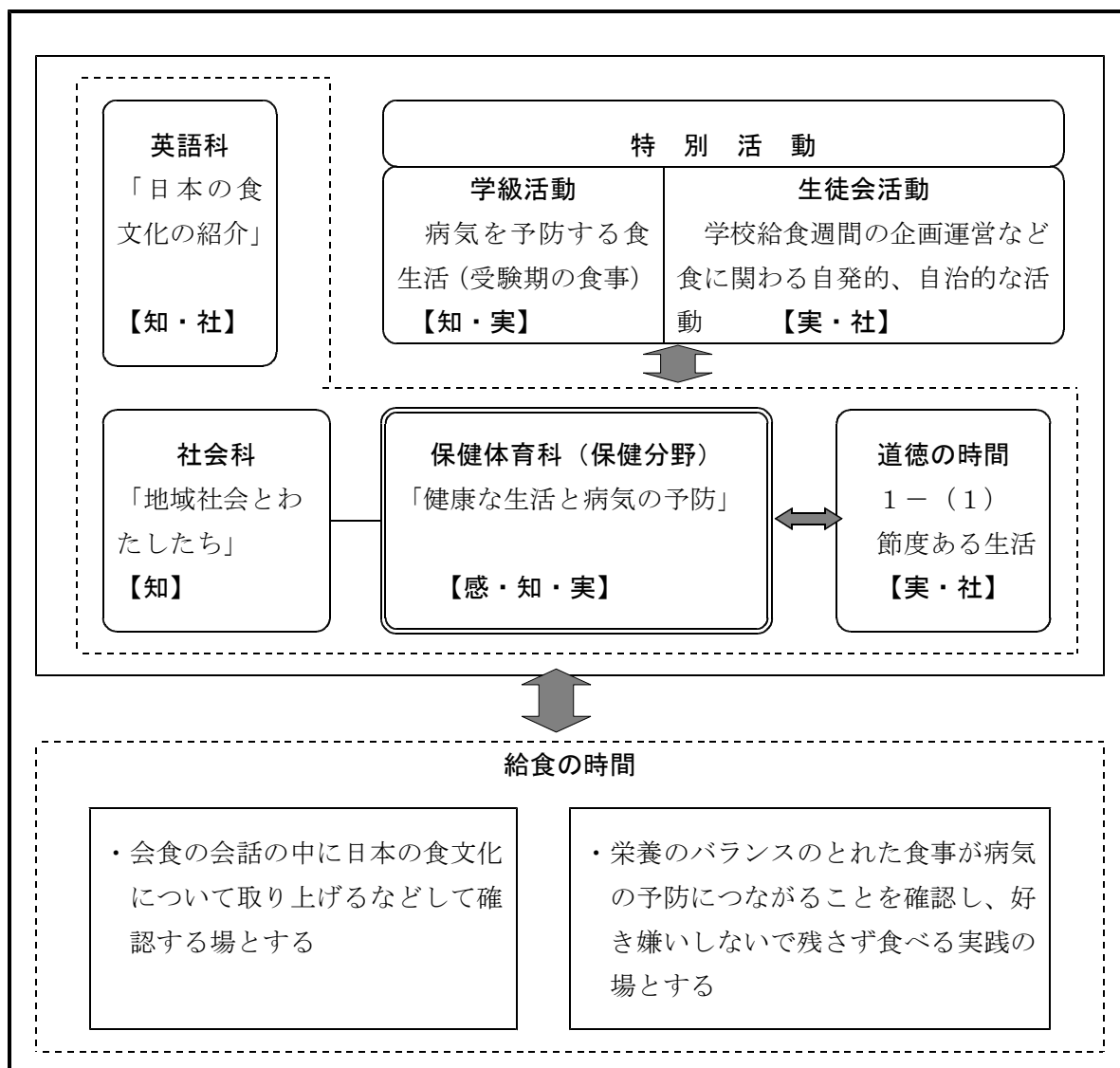


□取組のポイント

- ・技術・家庭科（家庭分野）「食生活の自立」を中心単元として、理科、英語科、道徳の時間、特別活動と関連付けて指導します。
- ・学校給食では、郷土料理や地域の食材に注目させ、味わたり、「よく噛んで食べること」が消化吸収に関係していることを確認した上で、望ましい食べ方を実践したりします。
- ・特別活動において自己決定した目標を実践する場として給食の時間を活用することも考えられます。

※栄養教諭等から「まるごと秋田を食べよう給食」の資料を活用するなどして地域の食材を活用する利点や郷土料理の歴史などの説明をうけることで、食への興味・関心を高めるとともに知識・理解を深めることができます。

□食育モデルプラン



□取組のポイント

- ・保健体育科（保健分野）「健康な生活と病気の予防」を中心単元として、社会、英語科、道徳の時間、特別活動と関連付けて指導します。
- ・学校給食では、栄養のバランスのとれた食事とするための食材や料理の組合せを実感させ、好き嫌いせず残さず食べる実践の場とします。

※栄養教諭等から栄養の偏った食事の弊害について本県や本市の実状を踏まえた説明を受けることで、病気を予防するためには、規則正しく3食食べることが重要であることについて理解を深め、実践しようとする意識の向上を図ることができます。